

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子



学校だよりNo. 26

令和5年11月9日

伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり

『西台商店会の皆様、引率ボランティアの保護者の皆様』ありがとうございます！

2年がグループに分かれて約20店舗の西台商店会のお店にインタビューに行く「町たんけん」に出発しました。国語の説明文「どうぶつ園のじゅうい」の学習で、獣医さんの“すてき”などところをたくさん見つけながら、説明文の構成や内容等について学んだ力を使い、校区のお店の方の仕事について“すてき”だと思ったことを文章にまとめて発表するという学習を計画しています。



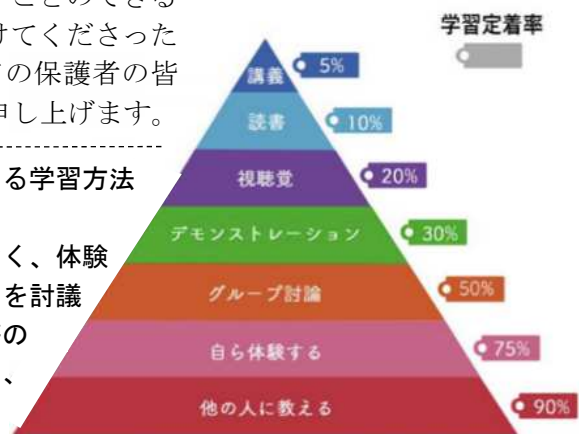
このお店の訪問に向けて、子どもたちは地図を見たり写真を見たりして行き方を確認したり、挨拶のことばやインタビューする内容について、上手に話す練習を聞き合ったりと、一生懸命に準備をしていました。きっとどのグループでも、一人ひとりが活躍し、責任をもって役割を果たして、自信をつけることができたことと思います。

また、目的を達成するために仲間と協力する経験もとても大切です。困ったことが起きた時にも、力を合わせて解決する過程をとおして、たくましく生きる力も育ちます。

机上の学習に留まらず、学びを社会で生かすことのできる貴重な機会となりました。快く訪問を引き受けてくださった西台商店会の皆様、そして引率ボランティアの保護者の皆様、子どもたちの学びを支えてくださり感謝申し上げます。

右の図は、アメリカ国立訓練研究所の研究による学習方法と平均学習定着率の関係を表したものです。

どの学年でも、読んだり聞いたりするだけでなく、体験したことをグループで伝え合ったり、考えたことを討議してまとめたことを他の人に教え合ったりする等の主体的な学びをこれからも大切にしていこうように、これからも努めてまいります。



ラーニング・ピラミッド